

シニア世代による 子育て支援

加古川東高校 STEAM特講 子育て支援班

藤井 夏海
富田 理子
栗山 美綾

① 基本情報



▶ 総人口 261,354人
(推計人口 2020年8月1日)

▶ 人口密度 1887人/km²

② 人口全体に占める 20～30代の割合

(加古川市 住民基本台帳人口より)

平成20年	26.99%
平成25年	24.15%
令和2年	21.09%

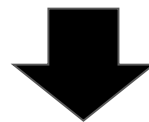


子育て世代が減少

③ 転出、転入数

(神戸新聞NEXTより)

転出数→7543人
転入数→6574人



転出入の差→-969人

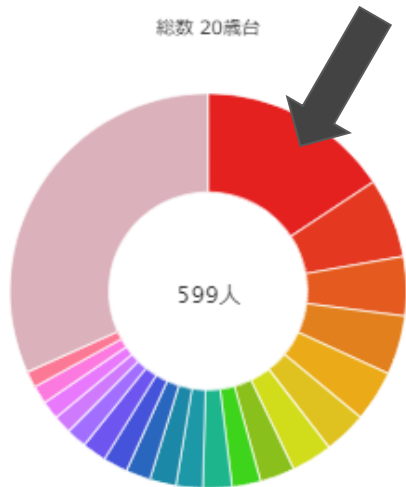
これは問題である！！



具体的にどんな人がどこへ転出しているのかをRESASで調べたところ、

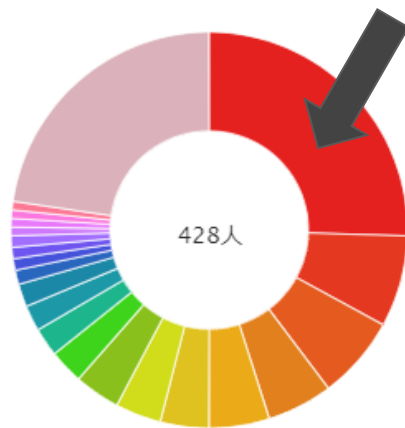
転出超過数内訳

総数 20歳台



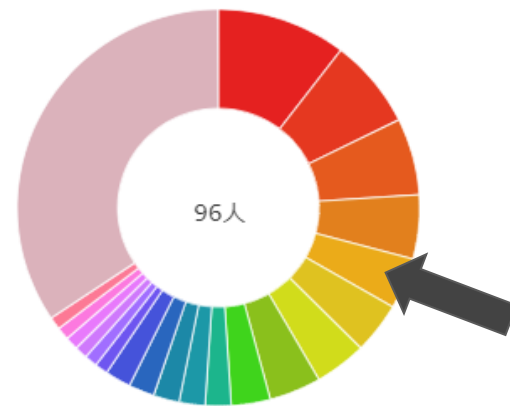
転出超過数内訳

総数 30歳台



転出超過数内訳

総数 50歳台



● 1位 兵庫県明石市 94人 (15.69%)

● 1位 兵庫県明石市 109人 (25.47%)

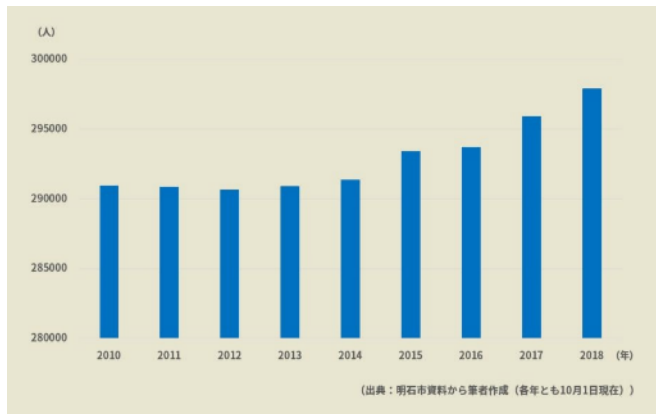
● 5位 兵庫県明石市 4人 (4.17%)

50歳代に比べて20歳代、30歳代（子育て世代）の多くが明石市に転出していることがわかる。



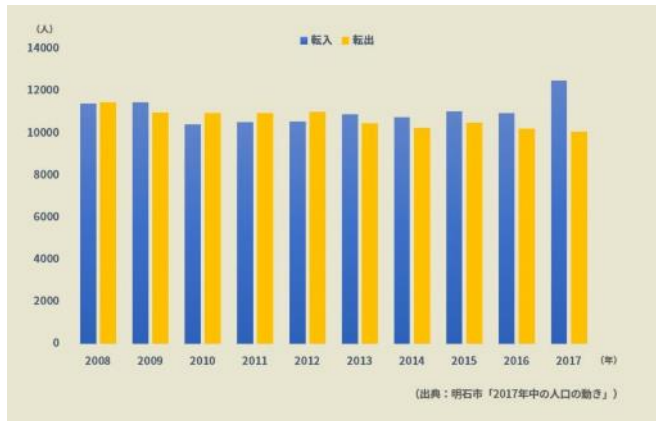
- ▶ 総人口 299,765人
(推計人口 2020年10月2日)
- ▶ 人口密度 5955人/km²
- ◎加古川市の東隣に位置している
JR神戸線新快速で約15分の距離

↓ 明石市の人口推移



近年、人口が
増加している！

↓ 明石市の転出、転入数



近年、
転入数が転出数を
上回っている！

▶ 明石市で魅力を感じた行政サービスや事業、取り組み（明石市へ転出した元加古川市民に対するアンケートより）

子育て支援について **59 / 59件**

- ・ 子育て施策に力を入れている（こども広場など）
- ・ 子育て世代への行政サービス
- ・ 子どもの医療費無償化等、育児政策に力を入れているところなど

▶ 加古川市民の意見（子育て支援サービスについて）

1 位→児童館や子育てプラザなどの設備改良

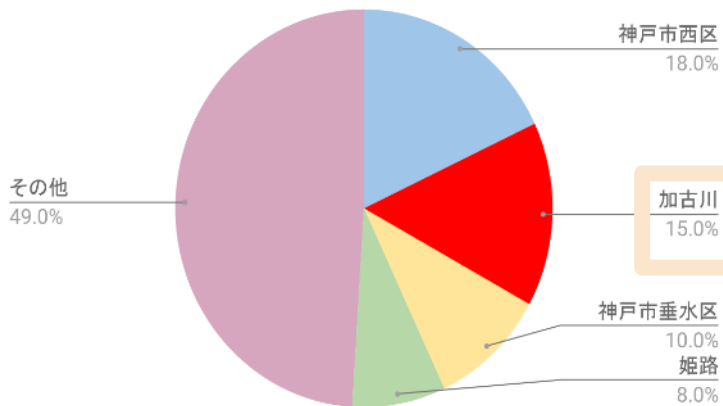
2 位→一時的な預け先の充実

- ・ いつでも子供を預けられる環境が欲しい
- ・ 土日や祝日、警報発令時、長期休業中に子供を預けられる場所がほしい

（加古川市実施アンケートより）

明石市の現状と子育て支援

明石市への転入者の割合



(明石市ホームページより)



**明石市への転入の約15%が
加古川市から！**

◎明石市の子育て支援

- ・ 第2子以降の保育料完全無料化
- ・ 0歳児の見守り訪問
- ・ 市営の一時保育施設 など



私たちは、一時保育が子育てのしやすさに大きく関係しているのではないかと考えた

加古川市の一時保育について調べてみると。。

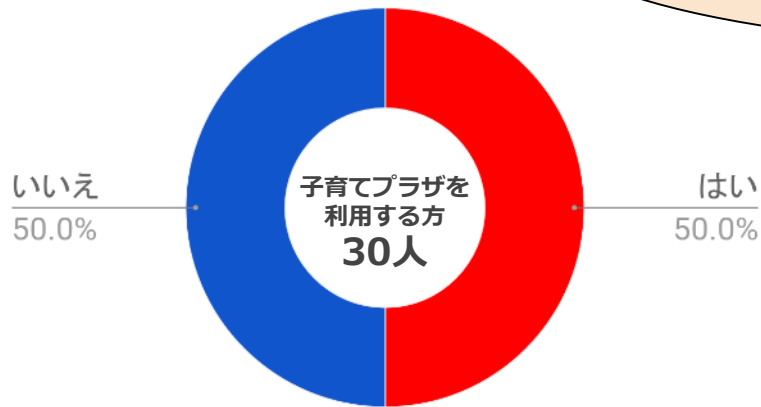
主に保育園や幼稚園で行われていることが分かった。

市の政策としての制度が必要なのではないか。

加古川市の子育て世代にアンケート

そこで、実際に加古川市で子育てしている方の声を聞くためにアンケートをとりに行きました！！

アンケート結果



お子様を一時的に預けたいとき、
気軽に利用できる場所がありますか？

はい → 50%

いいえ → 50%



半数が“ない”と答えている！！

加古川市内の子育てプラザの
利用者30人を対象としたアンケート結果

どんなときに子供を預けたいですか？

- ・ 自分が体調不良になってしまったとき
- ・ 病院や美容院に行きたいとき
- ・ 買い物に行きたいとき
- ・ リフレッシュしたいとき
- ・ 仕事（在宅ワーク）のとき
- ・ 夫婦の時間が欲しいとき
- ・ 育児に疲れたとき
- ・ 親の介護をしなければいけないとき

日常生活から
切っても切り離せないものばかり！

**一時保育の需要は
かなり大きいと
考えられる！！**

そこで私たちは

9

シニア世代による託児サービス

を提案しました。



- 地域の高齢者による一時預かり施設
- 保育士常勤
- 予約不要
- 土日祝も利用可能

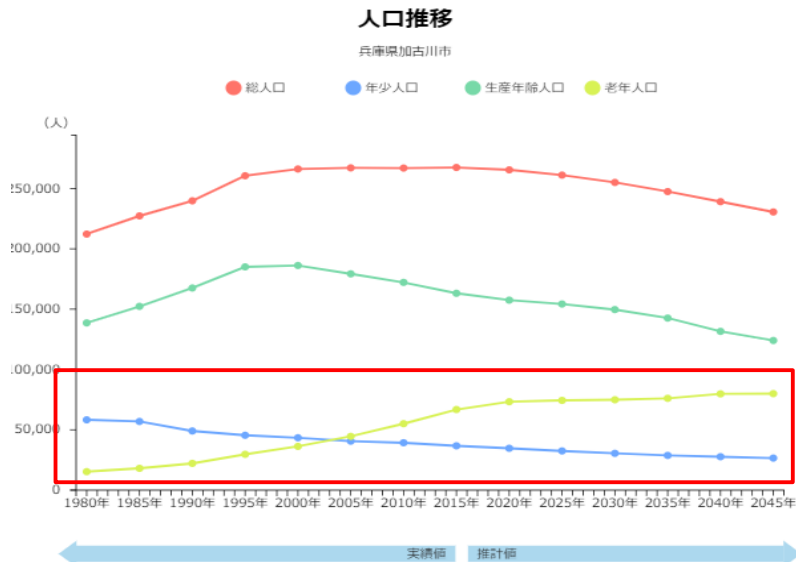
← 8月に加古川市役所の方や
地域の方に向けて発表を行いました

加古川市の託児サービス充実に向けて

なぜシニア世代による託児なのかというと...

①加古川市の人口推移

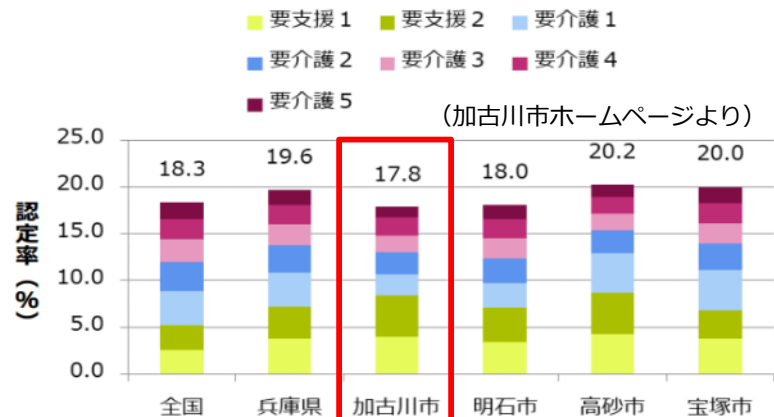
(RESASより)



老年人口の増加に着目

②要介護認定率

認定率（要介護度別）（平成30年(2018年)）



加古川市は他の市と比べて要介護認定率が低い

健康なシニア世代が
比較的多いと考えられる

地域のシニア世代の意見を聞くために
粟津老人クラブと粟津町内会の方に
インタビューしてきました！



◎地域の子どもと関わる機会がありますか？

- ・小学生の登下校の見守り
- ・町内会の旅行
- ・高校での文化祭への参加
- ・地域の祭り



未就学児との関わりがほとんどない！

◎子どもの一時預かり施設での
ボランティアがあったら参加したいですか？

したい！

けど...

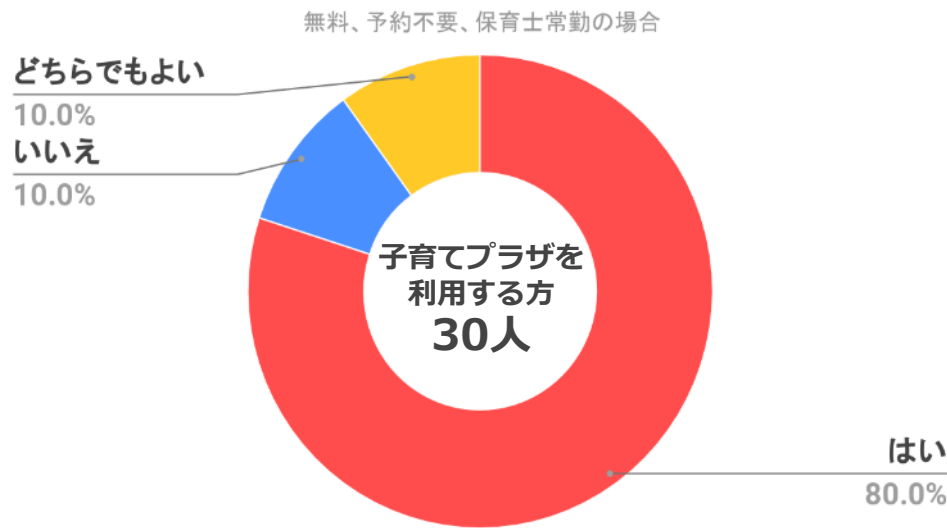
責任が重すぎる
という意見が多かった

(粟津老人クラブ、粟津町内会の方を対象としたインタビュー結果)

加古川市の子育て世代にアンケート

！私たちの提案について加古川市の子育て世代の方々に聞きました！

地域のシニア世代による託児サービスがあれば利用したいと思いますか？



加古川市内の子育てプラザの利用者30人を対象としたアンケート結果

◎「利用したい」と答えた理由

- ・“地域の”という点がいい
- ・高齢者は子育ての先輩であるから
- ・昔遊びなどを教えてもらえそう
- ・多世代交流ができていい
- ・子供に癒されてくれると嬉しい
- ・予約不要なら、急な用の時に助かる
- ・気軽に行けていい
- ・子育てに協力してくれる人の年齢は気にしない

◎「利用したくない」「どちらでもよい」と答えた理由

- ・“シニア”、“初対面”という点に不安を感じる
- ・現時点で子育てに苦労していないから

シニア世代

子育ての支援をしたい
という気持ち

子育て世代

地域のシニア世代による託児サービスが
あれば利用したいという気持ち

すれ違いが起こっている



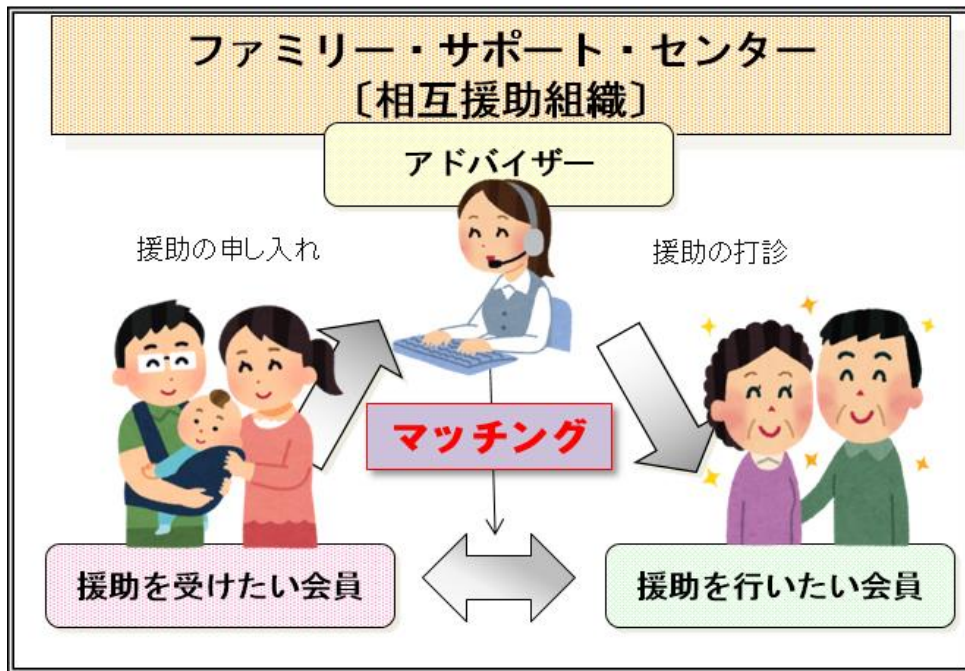
だからこそ

シニア世代による託児サービス

を提案しました

その後すれ違いの原因の一つである、シニア世代の「責任が重すぎる」点の解消を目指すため
加古川市役所の方にアイデアを提示し意見を伺いました

新たな事実発覚！！



(厚生労働省HPより)

育児の援助を
受たい人で行いたい人が
会員となり助け合う会員組織

相互援助活動の例

- ・ 保育施設等までの送迎
- ・ 保育施設の開始前や終了後又は学校の放課後、子どもを預かる
- ・ 買い物等外出の際（リフレッシュ目的含む）、子供を預かる

加古川市でも既に制度が整っていた！

ファミリーサポートセンターの制度について
加古川市役所に詳しい話を聞きに行きました！

加古川市のファミサポ利用率は

県内3位

しかし・・・

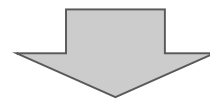
加古川市（12歳未満の子供がいる世帯） **17856世帯**

国勢調査(2015年)より

依頼会員（25歳～39歳）

1357世帯

加古川市役所ファミリーサポートより



子育て世代（25歳から39歳と規定）の
加古川市民のうちファミリーサポートを
利用しているのは7.6%！



加古川市の子育て支援における課題

ファミリーサポートの課題

利用率が低い



① 認知度が低い

- ・ ネット検索で見つかりにくく、情報が得にくい
- ・ 子育て世代以外の市民が知る機会がほとんどない

② 気軽に利用しにくい

- ・ 他市のファミリーサポートには依頼会員用のオンラインフォームやFAX用紙があるが、加古川市にはない
- ・ パンフレットが見にくい

▶ 子育てに関する情報の入手のしやすさ

子育て支援の利用に関する情報・手続き方法の周知について **74件** の意見

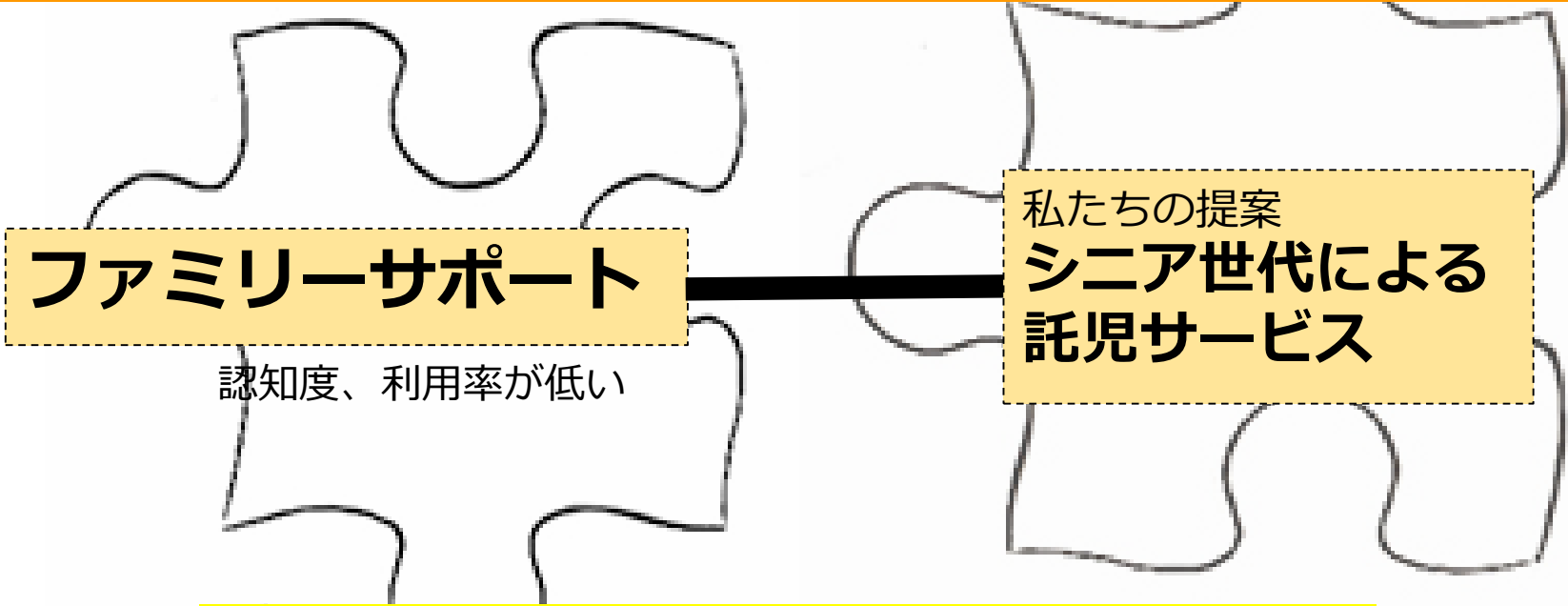
集まった170件のうちで
最も多い意見

(加古川市実施アンケート自由記述より)

▶ 加古川市ホームページ



子育て支援のページとは別に
なっていて気付きにくい！



ファミリーサポート

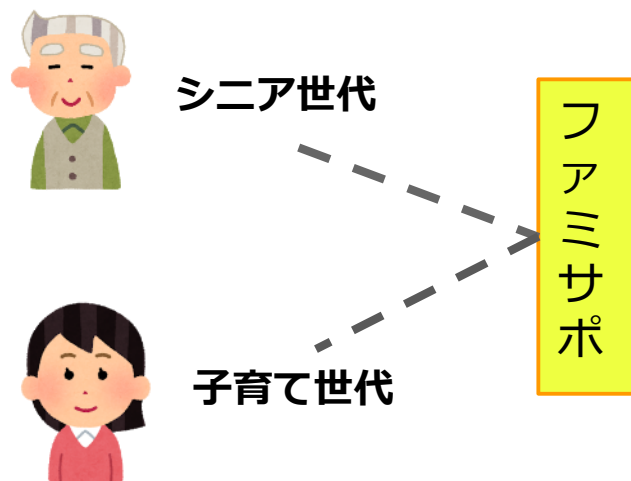
認知度、利用率が低い

私たちの提案
**シニア世代による
託児サービス**

支援する側の面的広がりが重要

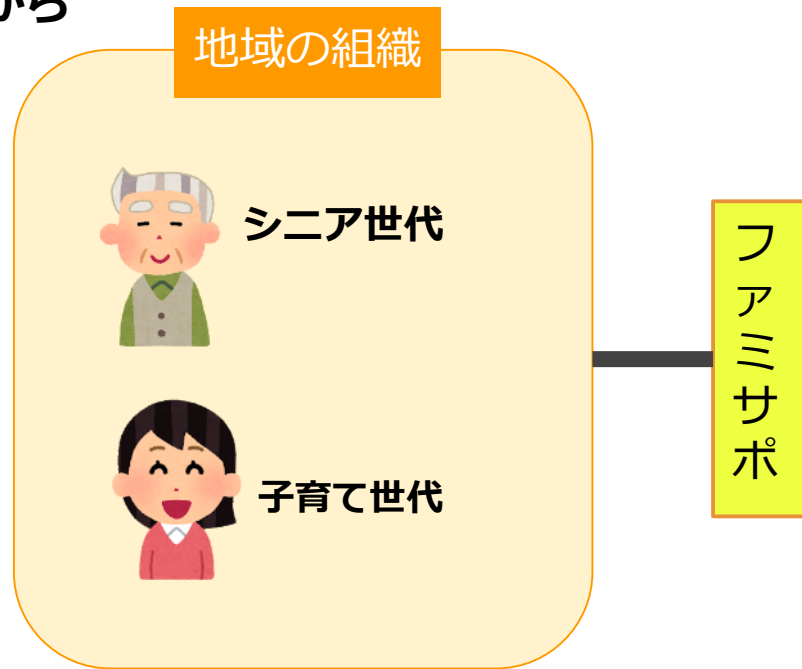
地域全体で子育て世代を支援するために、
子育て世代を含む加古川市民全体にファミリーサポートの存在を認知してもらう

現状



個人と個人で繋いでいる

これから



組織での繋がりを強める

既存の地域の組織を活用し 地域一体となった子育て支援を目指す

加古川市には今回インタビューに伺った町内会以外にも様々な団体がある

それぞれの組織による地域の強いつながりを生かす



- ・ 地域での信頼関係が生まれる
- ・ ファミリーサポートの課題である「認知度が低い」ことの解消

富田 との会話

富田 @tomita 11月16

私たちは加古川市の子育て政策について研究しており、「シニア世代による子育て支援」を提案しています。

その中で、ファミリーサポートの利用率を上げるための方法についても考察しています。

私たちの提案もスマートシティ構想の「安心して子育てができるまちづくり」に貢献できるのではないかと考えています。マッチングアプリを導入するためにも、人と人をつなぐ必要があり、既存の組織を活用するという私たちのアイデアが生かせるはずです。詳しくは下のURLにスライドを載せておくので、ぜひご覧ください。

感想やコメントもお待ちしております。

<https://drive.google.com/file/d/1pVKcjDrwbjTA6gYrnTOusp/sharing>

返信を非表示

6 0

adol @adol 11月23

資料読ませていただきました。
これは、是非実現してほしい提案です。

P10の記載通り、シニア個人では責任が重すぎる！の

▶ 加古川版Decidim

加古川市が一般社団法人コード・フォー・システムと協働で運営するデジタル技術を活用したスマートシティ実現のためのサイト

加古川市をよりよくしたいと考える人の間で意見交換や議論ができる

**私たちも参加し、
市の方にアイデアを
頂きました！**

11月18日にスマートシティ構想を担当する市職員や関係する方にインタビューをしたときの様子 →



シニア世代

- ・ 子どもからエネルギーをもらえる
- ・ 多少の収入源になる
- ・ シニア世代の外出を促すきっかけになる

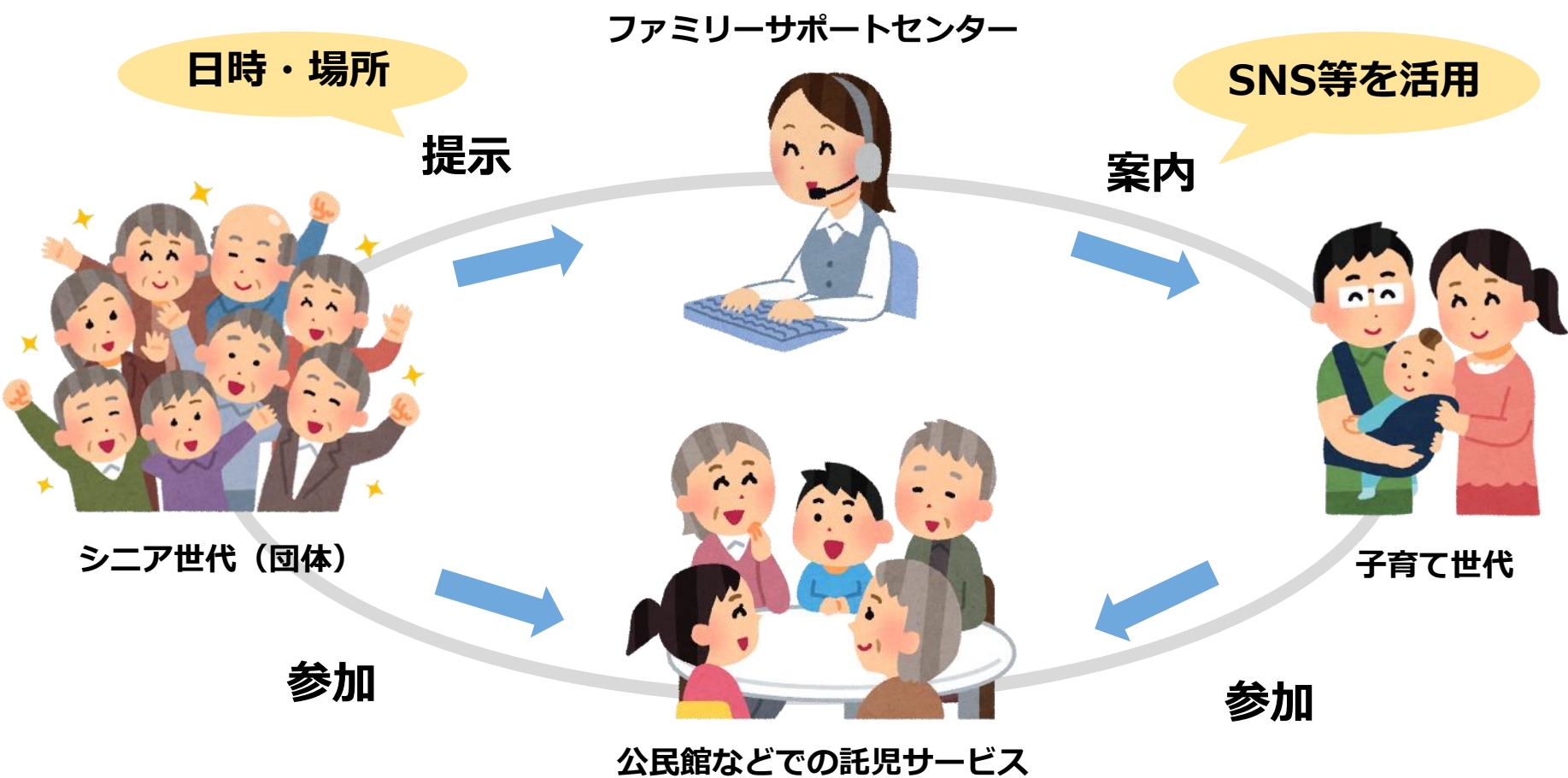
子育て世代

- ・ 子育てに多少の余裕が生まれる
- ・ 育児を経験した人と関わることができ、相談等がしやすくなる

今まで以上に安心して暮らせる場所になる！！

子ども世代

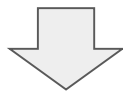
- ・ 昔遊びなどを教わることができる
- ・ 地域の人との関わりが増える





提供会員

- ・ 子供を預かることに大きな抵抗（責任）を感じている



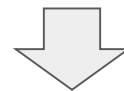
需給バランス

市の方は「リフレッシュ目的の利用者も増やしたい」と話していた！

依頼会員



- ・ 気軽に利用しにくい
- ・ そもそも認知度が低い



団体ファミサポ

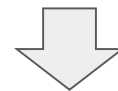
- ・ 抵抗感が減る



- ・ 個人での提供も開始しやすい
- ・ 子育て支援参加への一歩を踏み出しやすくなる

利用者増
ファミサポ拡大

- ・ リフレッシュ目的でも使いやすい
- ・ 雰囲気がわかる



- ・ 従来のファミサポ制度を知る機会になる

従来のファミサポと団体ファミサポをライフスタイルに合わせて利用出来る！

参考文献

- ・ 住民基本台帳/加古川市
<https://www.city.kakogawa.lg.jp/shiseijoho/kakogawashinotokeijoho/jinkotokei/1415672774585.html>
- ・ 神戸新聞ネクスト
<https://www.kobe-np.co.jp/>
- ・ RESAS 地域経済分析システム
<https://resas.go.jp/#/13/13101>
- ・ 明石市ホームページ
<https://www.city.akashi.lg.jp/>
- ・ 加古川市ホームページ
<https://www.city.kakogawa.lg.jp/>
- ・ 厚生労働省ホームページ
<https://www.mhlw.go.jp/index.html>
- ・ 加古川市転入転出に関するアンケート調査
<https://www.city.kakogawa.lg.jp/material/files/group/6/tenshutsukekka.pdf>



謝辞

- ・ 粟津老人クラブ、粟津町内会の方々
- ・ 加古川市子育てプラザの方々
- ・ ファミリーサポートセンター アドバイザー
- ・ 加古川市役所 子ども部こども政策課 副課長

山下 留美様
笠原 久義様

以上の方々に謝辞を表します。



責任問題に関して

補償保険

活動中の事故や万一の賠償請求に備え、安心して活動が行えるよう、会員はすべて補償保険(「サービス提供会員傷害保険」「依頼子供傷害保険」「賠償責任保険」)に自動的に加入することになります。
会員の負担金はありません。

サービス提供会員傷害保険

事由	補償額	備考
死亡	500万円	事故日より180日以内の死亡
後遺障害	程度により500万円～20万円	事故日より180日以内の後遺障害発生
入院（1日）	2,000円	事故日より180日以内を限度
通院（1日）	2,000円	事故日より180日以内で90分を限度

依頼子供傷害保険

事由	補償額	備考
死亡	300万円	事故日より180日以内の死亡
後遺障害	程度により300万～12万円	事故日より180日以内の後遺障害発生
入院（1日）	3,000円	事故日より30日以内を限度
通院（1日）	2,000円	事故日より180日以内で90分を限度

賠償責任保険

事由	補償額（限度額）
対人・対物賠償（1事故につき）	2億円
見舞金・見舞品	10万円
現金盗難	10万円

加古川市ホームページより

▶ 4回の講習ののち依頼会員登録
登録した後も定期的に子供に関する
講座を開催

▶ 賠償保険
・ファミリーサポートの会員になると自動的に加入
・会員の負担金はなし

▶ 提供会員と依頼会員はマッチング時に
事前打ち合わせ

責任問題に対応できる制度が整っている

提供側も依頼側も安心して会員になれる！